

「広報」



あに

1990

3月

編集・発行 秋田県阿仁町役場総務課

No. 332



「阿仁かざはり苑」 完成目前

東京都の委託による福祉施設「阿仁かざはり苑」が4月1日の開所を目前にして最後の仕上げ工事が行われています。

吉田地区のグラウンド跡地を利用して、6億2千万円余りの工事費で建設されているこの施設には80名の方が、9日以降に入所の見込みです。

この22日には配置される職員も発表され、新規に採用される職員の研修もすでに終わっています。

この種の施設は、昨年オープンした鹿角市に続いて県内では4カ所目です。

機構を一部拡充(農林畜産課→産業振興課)

「熊牧場」は4月29日オープン、中学校統合には最大の努力

3月定例会・町長施政方針

重点は産業振興

町議会の三月定例会が、この十二日から二十日までの九日の会期で開かれました。

平成二年度の一般会計予算案、特別会計予算案など三十一議案が審議され、原案どおり可決、同意されました。

初日の十二日、今井町長から新年度の町づくりについての施政方針が述べられましたので、その概要をお知らせします。

これまでの機構を一部拡充するかたちで、専任の職員を配置することになりました。



地場産業の振興を行政の重点施策として方向づけるため、機構の整備を検討してきました。

地元資源や地域環境を生かした特産物の生産振興を図り、農家所得の向上と農業後継者が将来に希望を持ち、定住できる条件を側面から手助けするための施策として地場産業の振興に重点を置き、こ



シヨートステイ用の部屋を増築

ねたきり老人等の介護者が疾病、出産、冠婚葬祭等の社会的理由及び旅行等の私的理由により、一時的に自宅で介護ができない場合、要介護者とその間、養護老人ホームで保護するシヨートステイ用と

して老人ホームに一室を増築することになりました。

「生きがいと健康づくりモデル事業」を実施

高齢者が、文化伝承活動、スポーツ、レクリエーション活動、陶芸、手芸等の生産、創造活動を通じて人生八十年代の長い生涯を一人ひとりができる限り健康で、生きがいをもって社会活動ができるよう町内の諸団体の参加を得て、「高齢者の生きがいと健康づくり推進モデル市町村事業」を実施します。

施主検査は28日から30日まで (阿仁かざはり苑)

昨年八月に起工しました東京都の委託による福祉施設「阿仁かざはり苑」は外構工事等に一部遅れを生じていますが、それらを除く本体施設は今年二月二十二日に消防、二十三日には土木のそれぞれ検査を受ける予定であり、施主検査も同じく、二十八日から三十日までの間に受ける予定です。

また、採用内定者の職員研修、現任研修は、今月の十九日から実

施される旨、各内定者あてに通知されています。

大腸ガン検診で、早期発見 「健康カレンダー」を作成

六十年齢から実施している大腸ガン検診につきましては、新年度予定した分で全町にわたり、一回はカバーすることになりますが、毎年一回程度 精検の結果、初期で発見され、それぞれ早期の治療でことなきを得ておりますが、今後はサイクルを早めて実施します。

また、新年度は各種検診日程を網羅した「健康カレンダー」を各戸に配布し、早期発見、早期治療ひいては疾病の予防による町民の健康づくりを推進します。

当町で「支部消防訓練大会」 交通死亡事故ゼロは更新中

昨年八月以来、無火災を続けておりましたが、去る二月二十二日の非住家火災により、二百三日で中断しました。

新年度は、大館市・北秋田支部消防訓練大会が当町を会場に開催されます。

また、交通安全運動の推進につ

きましては、交通指導隊の街頭指導等を通じて安全意識の高揚に努めているところですが、交通死亡事故ゼロの記録は、二月末現在一千三百四十八日で更新中です。

防災行政無線、ため池

改修事業に着手

農業関係の建設事業については、全町を対象に、農村情報連絡施設を新年度から二カ年で建設します。新年度では、親局をはじめ、中継局、屋外拡声子局の一部、無線室等を整備します。

県代行事業については、昭和十五年から進めてきた県営過疎基幹農道（大阿仁農道）が、新年度の工事ですべて終了、吉田地区ため池改修事業も着工します。さらに、畜産農家の所得向上並びに生産コストの低減を図るため引き続き、七ヘクタールの草地造成と五百メートルの牧道を計画しています。

新林構は林道・作業道 間伐・枝打ちに助成金

活力ある地域林業の振興と低コスト林業等を目ざした新林業構造改善事業が、新年度から実施され

ますが、初年度は林道・小倉岱線杉ノ又線、それに作業道としては猿倉線を開設します。

また、新年度においても間伐、枝打ち事業については、会社法人を除く林家に対して一ヘクタール当り、一万円を補助します。



「マツタケ栽培事業」 に着手

年々減産が続く町特産のマツタケを保護管理するため、「マツタケの里づくり」構想を進めてきました。発生する山の持ち主である古河林業(株)の理解も得られ、マツタケ

保護生産組合ともその活用について合意が得られましたので、国の補助事業を導入し、その実施に取り組みます。

「熊牧場」は、オープン に向け準備

昭和六十二年度から三カ年で工事を進めてきた熊牧場は、昨年完成しました。

来る四月二十九日のオープンに向け準備を進めておりますが、四月早々工事に取りかかる見学者通路の屋根や牧場のまわりのフェンス等、環境整備を十分にし、万全の体制でオープンに臨みます。

オープンイベントとしては、「マタギ太鼓」、「獅子踊り」、「根子番楽」等、代表的な郷土芸能や町外からの応援も得て、四月、五月の連休期間中全町をあげて取り組みます。

開業にともない相当数の入場者が予想されますので、阿仁マタギ駅や農業者健康管理施設からのバスの送迎や食堂の開設、みやげ品売り場の設置等来客者のサービスにも努めます。

さらに、訪れた利用者への便宜をはかるため、打当地区の他の施設、農業者健康管理施設やふるさとセンターを共通利用した場合に、熊牧場の入場料を割引ます。

新たに1棟完成ま近 本年中に3棟が着工 の見通し

(高津森リゾート基地)

森吉山阿仁スキー場に関連する高津森リゾート基地の造成事業について、最終年度の今年、団地内の道路、駐車場の舗装工事がほぼ完了、同団地内の宿泊施設ベンションはこの三月に完成する一棟と合わせ、二棟が営業することに、さらに、今年中に三棟が工事着工となる見込みです。



「露天風呂」も計画

打当の温泉施設については、昨年の内陸線全通により、利用客が増え、前年同期より五千人を超え二十パーセント増となりました。

新年度は、源泉からの引湯管のクリーニング工事、食堂部の充実等入浴者へのサービスの向上に努め、さらに利用度を高める観点から温泉の多角的な活用構想として、露天風呂も計画しています。

今年も「アユ」を放流 「オフロード大会」も

河川に恵まれている当町は、水資源確保のため、イワナ・ヤマメの放流を行ってきましたが、昨年新しい試みとして、「アユの里」づくりを目ざして、町独自にアユを放流しましたが、そのほとんどが、町内の河川に住みつき、多くの釣り客でにぎわいました。本年はさらに数を増やします。

さらに、新しいイベントとして最近の若者のニーズに応え、「オフロード大会」を計画、阿仁の山々の道路をオートバイに乗り競ってもらい、多数の若者の力で町の活性化を図ります。

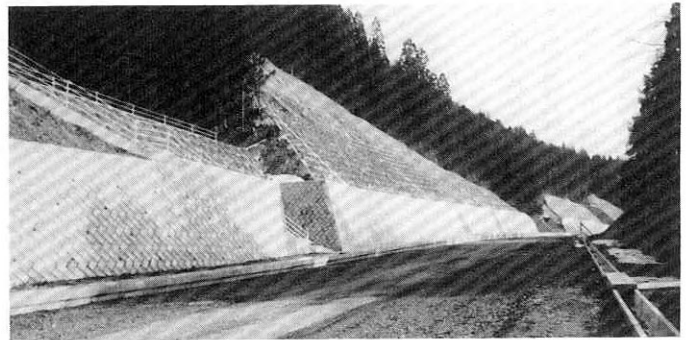
ブナ森線は全線5メートルに拡幅舗装 阿仁合バイパスは3年度に供用開始

ブナ森線は、平成九年を目標に工事が進められており、ふるさとづくり特別対策事業では、平成三年まで全線を五メートルに拡幅舗装し、リゾート道路として改良される予定です。

県道打当阿仁線は今年度中に長畑の一部を除き、全線整備改良されることになり、地域産業、観光に対して貢献できる道路となり高連交通ネットワークが確立され、町の活性化が図られる道路として期待されています。

また、国道105号線の阿仁合バイパスも、昭和五十六年のルート決定から九年目を迎え、今年度をもって全線下層路盤工まで完成されることになり、平成三年度全線供用開始されることになりました。

さらに、バイパスと町内の道路を結ぶ取付道路として、大町2号線、病院線、平成三年度において御蔵住宅線（阿仁合中学校線）の整備を計画しています。



一中は一学級減 統合の実現に邁進

児童・生徒数等については、対前年度比で、小中合わせて九名の減となり、学級数においては中村小、根子小が一学級減となるところ、特に複式解消というところで、教員の特別加配があり、結局第一中学校の一学級減にとどまりました。

しかし、今後の生徒数の推移をみると一中が百人、二中が五十人代を割ることが予想されることか

ら、これまで進めてきた中学校統合には最大の努力を払い、その実現に邁進します。

南学区の「出願」にも 引き続き努力

現在、秋田県の「公立学校の通学区による規定」によると、当町の専門教育を主とする学科以外は北通学区となっておりますが、秋田内陸線が全通し、交通事情が著しく改善されたことから、父兄はもろろんのこと、高校進学を控えた生徒自身においても、できるだけ早い機会に南学区にも進学できるように強く望んでおりますので通学区上の便宜、父兄の経済的負担の軽減等からも、ぜひ南学区にも出願することができるよう、新年度においても引き続き、その実現に努力します。

「文化センター」の建設 は、国のヒアリング後

「北緯40度ふるさと文化センター」については、社会教育及び文化行事、町づくりイベントの殿堂として建設するため、自治省の町づくり事業で実施することにして計画中ですが、この四月、国の最

終ヒアリングが行われる予定となっており、その経過を踏まえ、補正予算で対応します。集会施設としては、この規模の建物は今後なかなか計画できないと思っておりますので、北緯40度の町づくりにふさわしい利便性の高い施設として、建設を進めます。

建設の設計費を計上 （代替スキー場） 松森スキー場整備は 調査費を予算に

代替阿仁スキー場の建設について、アルペン湯口内地区に、ノルディック及びジャンプ台は吉田地区に建設することが決まりましたので、国の補償金が平成元年度から二年度の二カ年にわたり、支払われることになりました。

現在、補償額の全体については県土木部と建設省で最終的つめをおこなっている段階であります。平成元年度は、九千万円支払われることになりました。建設に伴う計画については、調査設計費を当初予算に計上、工事については、この調査設計を待って補正で対処、早期完成を図ります。

また、松森スキー場については、スキーゲレンデのほぼ中央に窪地があることから、地元から埋立整備の要望がありますが、その力所

は沢となっており、一部土砂流出も見受けられるので、細部にわたる周辺を調査し、慎重に事業を実施する必要から、当初予算に調査設計費を計上しました。

看護部門を強化 X線テレビを更新

新年度の職員態勢は、看護部門に欠員を生じておりますので、これを重点に強化を図ります。

診療面では、内科外来は新年度も秋大第一内科のご協力により、隔週一日の出張診療を行います。歯科外来につきましても岩手医大第一口腔外科から常勤の外に七・八月の二カ月出張診療をお願いする予定ですが、長期常勤医についても引き続き努力します。

また、X線テレビは昭和五十三年度に購入したもので、故障があいつぎ、交換するための部品もない状態なので、この器械を購入するための予算措置を構えました。

病院経営も年々厳しさを増しますが、極力収入の確保、経費の節減を図り、院長を中心に経営の健全化と地域のニーズに因應するよりよい診療を目指して努力します。

新年度予算に見る 主な建設事業

団体営草地開発整備事業(高津森牧場)	60、642千円
団体営農道整備事業 <small>(積沢農道、吉田農道、打当農道)</small>	42、261千円
山村振興事業(防災無線)	62、364千円
新林構・林道開設事業 <small>(杉ノ又林道、小倉岱林道)</small>	53、619千円
吉田小様線改良事業	35、051千円
特定地区公園建設事業(河川公園広場)	79、009千円
秋田内陸線職員宿舍建設事業	35、000千円
ふるさと創生事業 <small>(北緯40度塔及び物産即売所駅前広場整備、バス購入)</small>	138、500千円
県代行事業 <small>(吉田地区ため池改修)</small>	27、910千円
阿仁林道開設事業	20、955千円
道路新設改良事業(山根線等)	83、949千円
荒瀬川線舗装改良事業	40、127千円
新風張橋橋梁整備事業	38、060千円
大町2号線整備事業	60、100千円
東裏線道路整備事業	47、119千円
流雪溝整備事業(銀山地区)	53、060千円
阿仁合地区簡易水道改良建設事業	175、376千円
公有林整備事業	32、381千円
集会所建設事業(打当・小沢)	14、976千円

全国コンクールで優秀賞

阿仁林業研究会



業研究グループコンクールにおいて優秀賞を受賞しました。

昨年の秋に仙台市で開かれた北海道・東北ブロックコンクールにおいて、全国コンクールへのキップを手に入れ、今回はグループ結成六年目にして、晴れの受章となったものです。

林業研究会は、山林の経営に関心のある有志が集まって、昭和五十九年四月に結成、会員は十五名。毎年先進地の視察や会員の所

有林で枝打ちや間伐の研鑽に励んでおり、地域での講習会や実技指導などに講師として依頼されることも多く、活発な活動を続けています。昭和六十三年度の林業技術交換研修では、秋田県知事賞に輝いています。

受賞の報告に役場を訪れた魚住会長は、「私たちの活動が認められたことは大変うれししいし、名誉なことと思う。しかし、これを契機に今後の活動が目されるので肩の荷が重くなるような気がする。若い人たちにどしどし入会していただき、活発な活動をしていただきたい」と話していました。

たった一人の卒業式

佐藤 仁君(根子小)

町内各小学校の卒業式は、この十八、十九日に行われてきましたが十八日の午前十時から体育館で行われた根子小学校(工藤隆校長、児童数二十八人)の卒業式では、たった一人の卒業生、佐藤仁君が在校生に見送られて思い出多い学舎をあとにしました。

同校ではこれまでも一人だけの卒業生が出ていますが、仁君は昭和五十八年度に続いて四人目。六年間一人でがんばり通してきた仁君には工藤校長から卒業証書が手渡されたあと学校や教育委員会などから卒業祝い品が贈られました。

農業 技術 テレホンサービス

- 鷹巣農業改良普及所では、農業(生活)技術情報のテレホンサービスを行っています。(ダイヤル六二一〇〇二九)
- 4月1日～6日 「稲の種まきと育苗の初期管理」
- 4月7日～13日 「水田の深耕と土づくり」
- 4月14日～20日 「水稲育苗期間の病害防除」
- 4月21日～27日 「水稲育苗の中期管理」
- 4月28日～30日 「水稲育苗の後期管理」

はい！ハローワーク
鷹巣職安です
さわやか安定所サービス運動実施中
TEL 62-1240

阿仁は文化の豊庫

「真澄」で郷土を再認識(今回は4月上旬)

江戸時代後期の紀行家で、わが国の民俗学の先駆者と呼ばれている菅江真澄を通じて、郷土を見つめようとする会が、この七日「地域の活性を考える会(代表・山田博康)」の主催で開かれました。

郷土史の研究にとつては貴重な資料となっております。

座談会に移り、話題は町の文化行政について多くの示唆に富んだ意見が出されましたが、「花しょうぶ園の周辺には、鉾山全盛時代の遺跡や史跡が数多くあり、案内板を設置して、観光客へのPRに努めては」、「マタギ駅から打当までの間に、史跡めぐりのハイキングコースを作つては」、「鉾山で使ったホリコを作つて、土産品にしてはどうか」など参加者からはさまざまなアイデアが続出しました。

日記、図絵、随筆など約百四十冊余りの著作を残した真澄は、その中で庶民の生活や地理、伝説、歴史、植物などさまざまな分野にわたつて聞き書きし、今日に貴重な資料を残しています。

愛知県生まれで、三十歳で故郷を離れた真澄は、北陸、東北、北海道などを旅し、本県の角館町で七十六歳の生涯を閉じています。

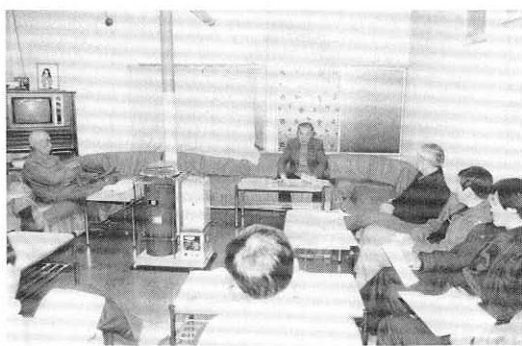
当町に関連のある部分について記述した日記は、「雪の秋田根」、「阿仁の沢水」「みかへのよろひ」などに詳しく書きしるされており、

さらに吉田氏からは、町のある寺を訪れた秋田大学の教授は、「京都の寺を訪れているのではないかとの錯覚を覚えたほどのエキゾチックな町だ」と述べたことや、この小さな町にこれほど多くの御影石が存在することは、驚き以上のことだ。かつて、北前船が阿仁の銅を大阪に運び、帰りに大阪産の御影石をこの地に運んできた。上方文化との交流が盛んでもあったことを示す証拠だなど、阿仁は文化の豊庫と言われるゆえんだと、郷土文化の誇り高さを説明し

てくれました。

秋田市の連合青年会が、太平山をはじめ、真澄の歩いた道に標柱を立て、「マスマミロード」を地域興しに役立てようとしている。文化の豊庫と言われている当町であるが、貴重ないくつかの文化財は指定して、標柱、看板などを立て保護する措置が構じられないものか、などの意見が出されました。

終わりにあつて、山田代表が「菅江真澄を通じて、郷土を見つめようというところで、今回の催しを企画した。とりあえず、自分たちでできることから行動を起こそう。この運動が多くの町民の間に広がり、着実に歩むことを期待したい」と述べ、今回は4月上旬に真澄が阿仁について記述した部分の日記を解説してもらうというところで散会しました。



「安の滝」一次選考をパス

最終発表は4月中旬(日本の滝百選)

緑の文明学会などで選定作業を進めている「日本の滝百選」に当町では「安の滝」を推せんし、町内外の皆さんにハガキでの応募の協力をお願いしてきました。

このたび、日本の滝百選の事務局から第一次選考を通過したとの連絡があり、関係者を喜ばせています。

この選考にあたっては、その基準が、①応募者評価(ある程度の応募があること)②規模・状態評価(滝の規模やそれをとりまく自然環境がすぐれているか)③特別評価(滝にまつわる伝説や歴史などがあり、地域の文化に寄与しているか)の三項目ありますが、地

元では、「安の滝」といえば、安と若者の恋愛の物語、森吉山麓の九百メートルの高地にある高さ九十メートルの飛瀑は知らない人はなく、歩道が整備されたこともあって、新緑や紅葉の季節には多くの家族連れなどでにぎわっています。

この「日本の滝百選」に選ばれらるると全国的なPRにもつながり、さらには、四月二十九日オープン「熊牧場」や打当温泉など町の観光地としてのイメージアップにも一段と拍車がかかることから、町民も大きな期待を寄せています。最終発表は4月中旬です。

教育委員に

固定資産評価審査委員会委員に

吉田 稲穂氏
杉田 亮氏

十二日開会した町議会の三月定例会では、最終日の二十日には追加提案された二件の人事案件についても同意、九日間の会期を閉じました。

追加提案された人事案件は、任期満了に伴う教育委員と固定資産

評価審査委員の選任に議会の同意を求めるものですが、前者には、現教育長の吉田稲穂氏(55)〓吉田字町頭四十一〓の再任、後者には杉田亮氏(60)〓水無字大町七〓の新任が決まりました。

保険料はなぜ上がるのか？

年金は、その時その時の生活水準にあった金額でなければ意味がありません。また年金の価値が下がっても困ります。そのため、昭和四十八年に物価スライド制度が導入され、年々給付額が引き上げられてきました。

今年度が五年毎の財政再計算期であり、六十一年度の法改正からの生活水準や物価スライド等を考

慮し、給付額も年六六六、〇〇〇円に引き上げられたことにより、それを賄うために保険料を引き上げる必要が生じていたものですが、急激に引き上げずに、加入者の保険料負担が困難にならないよう、段階的に引き上げることとしたものです。

保険料は20歳～60歳になるまでの
40年間納めることになっています。

老齢基礎年金を受けるためには、この間に最低25年以上(保険料免除期間やカラ期間を含む)の保険料を納めることが必要です。

保険料は平成2年4月から月額 8,400円

● 保険料を納められない人は……

第一号被保険者の方で、保険料の納付がいちじるしく困難な方には免除制度があります。免除には**法定免除**(①生活保護を受けている方②障害基礎年金または被用者年金の障害年金<3級は除く>の受給権者)と**申請免除**があります。

免除の手続きをしておきますと、年金を受ける権利が保障されます。ただし、免除を受けた期間の年金額は、通常の3分の1となります。免除を受けた期間を後で納付する場合は、過去10年以内に限ってさかのぼって納められます。追納すると将来の年金額は通常に戻ります。ただし、任意加入の方は免除を受けることはできません。

保険料を未納のままにしておきますと、将来年金を受けられなくなる場合もありますので、忘れずに納めましょう。

保険料を納める期限は、納める義務ができた月から2年以内ならば、さかのぼって保険料を納めることができます。

平成2年4月～3年3月	8,400円
平成3年4月～4年3月	8,800円
平成4年4月～5年3月	9,200円
平成5年4月～6年3月	9,600円
平成6年4月～7年3月	10,000円

春の火災予防運動

4月1日(日)～7日(土)

この時期は、一年中で最も空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象条件が続きます。

家庭や職場で、そして地域で防火について話し合い、火災予防に努めましょう。

一、高齢者、身体不自由者等を中心とした防火安全対策の徹底を図りましょう。

二、異常乾燥時及び強風時の火災発生防止対策を推進しましょう。

三、家庭及び地域における防火対策の推進を図りましょう。

四、旅館、飲食店等不特定多数の者が出入りする防火対象物等に係る防火安全を確保しましょう。

「おとなりに

あげる安心

火の始末」

春の青少年健全育成運動

3月18日(日)～4月15日(日)

三月から四月にかけては、青少年にとって、卒業、就職、進学、進級など生活環境が変わる時期にあたります。

また、学校は春休みに入り、その解放感から飲酒、喫煙などの非行や事故を起こしやすい時期となります。

このため、家庭、学校、地域が一体となって青少年の健全育成に取り組み、青少年が心身ともに健康やかに過ごせるよう努めましょう。

一、青少年を温かく見守り、何事にも自ら進んで行動できるよう励まし、自立自励の心を育てましょう。

二、清掃や地域の行事などへの積極的な参加を呼びかけ、青少年の社会性と連帯感を育てましょう。

三、青少年の行動について話し合ったり、お互いに声をかけ合ったり、非行や事故の防止に努めましょう。

いよ
いよ

マタギの里

4月
29日

熊牧場オープン

記念イベント 4月29日(日) → 5月6日(日)

3年がかかり

1億8千万円で完成

町づくりの大きな柱のひとつとして、担当地区に建設を進めてきた「熊牧場」が、四月二十九日(日)オープンします。

地域の特徴を活かした町づくりを進めようという町が、「マタギの里ふるさと村づくり」の一環として昭和六十二年の暮れから、一億八千万円の工費をかけて進められてきました。

場所は、担当温泉スキー場の上方に位置し、農業者健康管理施設(担当温泉)から二キロほど「つぶ沼」方面に入った山中で、スギ林を切り開いて、約二・四ヘクタールの林地に造成したものです。

熊牧場からは、なだらかな山容を持つアスピーテ火山の森吉山がくつきりと望まれ、そのす野に広がる奥深い山々に囲まれた担当の集落は、いかにも「マタギの里」の形がびつたりです。

約二ヘクタールの牧場内は、子熊、中熊、成熊の三カ所に分かれ、自然石や擬木などをセットし、さらには「ちびっこ広場」や「ふれあい広場」を設けるなどさまざまな工夫や配慮がされています。

竣工式は

4月28日(土)

現地で

竣工式は、四月二十八日(土)

午前十一時から行われますが、引き続きの祝賀会は、用地や工事関係者、それに地元住民らなど約百五十人を招待して、担当のふるさとセンターで正午から開催されます。

多彩な

オープンイベント

「熊」さん「金太郎」

さんに記念品

オープン初日の四月二十九日

(日)から五月六日(日)までは多彩なイベントが計画されています。

期間中は、「根子番楽」、「比立内獅子踊り」、「マタギ太鼓」などの郷土芸能をはじめ、「花しょうぶ祭り」や昨年の「産業祭」で楽しい歌を披露してくれた「花江とじゅん」、司会とおしゃべりには「阿部十全」などを迎えて、

歌や踊り、それにおしゃべりなど楽しい催し物がいっぱい。

また、カラオケ大会やチビッコかくし芸大会などたくさんのお品を用意して、皆さんのおい出をお待ちしております。

さらには、県内で「熊」と「金太郎」という名前の方をオープンイベント期間中、優待するなど話題もいっぱいです。

「阿仁マタギ駅」に
急行停車

無料の「送迎バス」

開設期間中は、多くの観光客でにぎわうことが予想されることから、秋田内陸縦貫鉄道様のご協力により、十一月上旬まで「阿仁マタギ駅」に、急行「もりよし号」が臨時停車する予定です。

また、町では「阿仁マタギ駅」と熊牧場との間を無料の大型送迎バスを上下の列車時刻に合わせて運行し、観光客の便宜を図ること

にしています。

「阿仁マタギ駅」での急行臨時停車時刻は前記のとおりです。

PR用ポスター

パンフも完成

熊牧場のオープンを町内外にPRしようとポスターやパンフレットなども完成。

縦七十五センチ、横五十センチの特大ポスターは千部印刷し、県内を中心に、内陸線、JRの各駅、観光案内所、さらには盛岡市や雫石町などの観光地にも張り出し、観光客の誘致に努める予定です。

さらに、熊牧場の位置図や町内の観光地を写真で紹介したパンフレットも三万部作成し、PRは万全。

将来は200頭に

ミニ動物園も併設

オープン時には五十頭余りのツキノワグマも将来は、二百頭前後にまで増やし、日本一の熊牧場にしようという構想です。

同時に熊だけでなく、森吉山麓に生息しているカモシカ、リス、ノウサギ、キツネ、タヌキ、アナ

角館行(下り)

10:57(もりよし1号)

18:11(もりよし3号)

鷹巣行(上り)

15:30(もりよし2号)

19:44(もりよし4号)

グマなどの小動物を集めて、ミニ動物園も併設し、見学するだけでなく、訪れた子どもたちが動物たちと一緒に遊べるような工夫もということで、計画が進められています。昨年の秋に弘前市の動物園から譲り受けた四頭のイノシシも元気で生活しています。

リゾートで脚光を

浴びる森吉山麓

現在、打当地区から田沢湖町に通ずる町道ブナ森線は、県で進めているリゾート関連事業の幹線道路として拡幅改良工事が進められており、この沿線には、新秋田三十景のひとつである「安の滝」をはじめ、幸兵エ滝、中滝、水尻滝などすばらしい滝群があります。さらに、郡界付近には、天然スギの美林があり、山地帯上部の生態系として、また学術的研究の場として貴重な存在から、昭和四十七年六月に県の天然記念物に指定されている桃洞スギ、佐渡スギと呼ばれています。今後の自然志向へと国民の関心が高まる中で脚光を浴びつつあります。

オーブン記念イベント

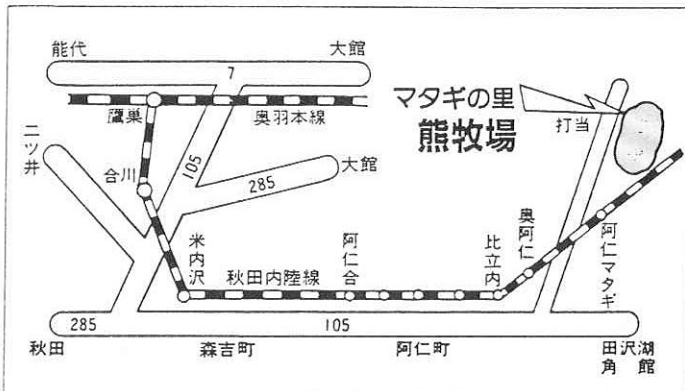
会場 熊牧場前イベント広場 ■時間 午後12時30分～午後3時まで

月日	行	事	名
4月29日(日)	司会とおしゃべり	阿部十全	
歌とアシスタント	花江とじゅん		
ゲーム・ウルトラクイズ(賞品あり)			
特別出演・比立内獅子踊り			
4月30日(月)	司会とおしゃべり	阿部十全	
飛び入りカラオケ大会(賞品あり)			
ゲーム・曲あてクイズ(賞品あり)			
特別出演・根子番楽			
5月3日(木)	司会とおしゃべり	阿部十全	
笑いとおしゃべり	前田リン		
ゲーム・魚つかみどり大会(賞品あり)			
特別出演・阿仁マタギ太鼓			
5月4日(金)	司会とおしゃべり	阿部十全	
歌謡ショー	歌手ハニー ゲスト 加藤アキラ		
カラオケチーム対抗戦(賞品あり)	※三八組で先着ハチチームまで受け付けます。		
5月5日(土)	司会とおしゃべり	阿部十全	
歌とお笑い	「麦畑」の 小野くみ子		
ゲーム・クマさん対金太郎さん(賞品あり)			
チビッコかくし芸大賞(賞品あり)			
5月6日(日)	司会とおしゃべり	阿部十全	
歌とアシスタント	花江とじゅん		
ゲーム・ウルトラクイズ(賞品あり)			
特別出演・阿仁マタギ太鼓			

※各ゲームの賞品にはビックな物をたくさん用意しています。

●開設期間及び時間

4月下旬～11月上旬
午前9時～午後4時まで



●マタギの里入場料金表

	大人(21人以上)	子供(21人以上)
熊牧場	500円(400円)	200円(150円)
農業者健康管理センター(打当温泉)	250円	100円
ふるさとセンター	150円	50円
セット券 熊牧場をベ スに他施設 利用の場合	合計額から 100円 割引	合計額から 50円 割引

阿仁町 マタギの里 熊牧場

秋田県北秋田郡阿仁町打当字陣場1の39
TEL 0186 (84) 2029
阿仁町観光協会 TEL0186 (82) 2117

県内「クマさん」「金太郎さん」大募集

阿仁町「マタギの里熊牧場」オープンにちなんで県内在住の「クマさん」「金太郎さん」を募集します。

1. 応募資格 県内在住の人で、名前に「クマ」または「金太郎」のつく人。例「熊之助」「熊五郎」「クマ」「金太郎」等で男女は問いません。
1. 証明 自動車運転免許証、健康保険証（コピーでも可）等、本人の名前を証明出来るもの。
1. 優待 該当者は、阿仁町マタギの里観光施設（熊牧場、打当温泉ふるさとセンター）の入場を無料にし、記念品を差し上げます。
1. 招待期間 平成2年4月29日（日）から5月6日（日）までの、本人の希望する日。
1. 申込み 優待期間中、直接熊牧場受付に証明出来るものを提示のうえ申込み下さい。
1. その他 事前に申込み希望の方、また詳しいことについて知りたい方は下記までお問い合わせください。

阿仁町熊牧場 0186-84-2029
阿仁町商工観光課 0186-82-2117

青年海外協力隊 春募集

青年海外協力隊の平成二年度春募集の説明会が、次の日程で開催されます。

(1)開催場所及び日時

・秋田市文化会館
4月18日(水) 18時30分～20時30分
5月14日(月) 〃
・大館市中央公民館
5月15日(火) 18時30分～20時30分

なお、詳しいことは県企画調整課国際交流室（0188-6011219）までお問い合わせ下さい。

海外研修に県独自で助成

また、県独自に「国際性豊かな県民の育成を図るため、県民が主体的に行う海外研修に要する経費

に対して助成」を行っています。

(1)募集数

個人、小グループ
団体

(2)募集期間

4月16日～5月31日

(3)募集要件

研修計画が、自主的に企画立案されたものであり、かつ、その成果を地域活動や団体活動を通じて地域社会の活性化に生かすための具体的な研修後の活動計画を有すること。

※ 応募に関する詳細については県国際交流室まで、お問い合わせ下さい。（電話0188-6011219）

福祉にと12万円寄付

—森吉地区遊技業組合—

県遊技業協同組合の理事をしている鈴木兼雄さん（森吉地区遊技業組合長）が、二月二十八日役場を訪れ、「組合員からのささやかな気持ちですが、福祉に役立てて下さい」と十二万円を寄付して下さいました。

紅白の幕

—阿仁合地区・厄払い有志—

今年厄年にあたり、公民館で厄払いを行った阿仁合地区の有志一同から紅白の横幕二張が寄贈されました。

バザーの売上げを

—阿仁合保育所—

阿仁合保育所からバザーの売上金をと、九千四百五十円の寄付がありました。
この二十三日、卒園後の謝恩会でバザーを行い、その時の売上金ということで園児たちが役場を訪れてくれました。

固定資産課税台帳の縦覧

平成2年度の固定資産税の課税の基礎となる固定資産課税台帳を次により縦覧いたします。

(1) 縦覧期間

平成2年4月2日から21日まで（日曜日は除く）

(2) 縦覧時間

8時30分から17時15分まで（土曜日は12時30分まで）

(3) 縦覧場所

阿仁町役場・2階会議室

平成2年度
前 期

技能検定受検案内

秋田県職業能力開発課 秋田県職業能力開発協会

技能検定とは、技能者の皆さんがもっている技能の程度を一定の基準によって検定し、それを公に証明する国家検定制度で職業能力開発促進法に基づいて実施されます。検定職種ごとに1級と2級に区分するものと等級に区分しないもの（以下単一等級という）とあり、実技試験と学科試験によって行われます。

技能検定に合格すると、1級及び単一等級は労働大臣名の、2級は県知事名の合格証書が交付され、法に基づいて「技能士」と称することができます。

技能者の皆さん、自分の技能に自信と誇りをもって、この検定制度を大いに活用しましょう。

受検申請受付 平成2年4月2日（月）から
平成2年4月18日（水）まで

● 受検案内、受検申請用紙の交付及び申請書類の提出先

鷹巣阿仁職業訓練協会 (鷹巣町中央公民館内)	018-33 電 話	鷹巣町花園町15-1 0186 (62) 3872
秋田県職業能力開発協会	010-16 電 話	秋田市新屋町字砂奴寄1-19 0188 (62) 3510、(24) 2052

北秋田郡の技能士数(平成元年度前期現在)

区 分	1 級	単 一 等 級	2 級	計
鷹 巣 町	199	1	179	379
比 内 町	116	3	142	261
森 吉 町	40	2	41	83
阿 仁 町	15	1	24	40
田 代 町	99	1	92	192
合 川 町	70	1	77	148
上小阿仁村	22		36	58

平成2年

春の全国交通安全運動

4月6日(金)から15日(日)までの10日間

事故防止 家族ぐるみで 話し合い

— 新入学(園)児を交通事故から守ろう —



※当日法規講習を受けた方で、一年以内に免許更新する場合は免許更新時の講習が免除になりますので、免許証を持参して下さい。

日 時 平成2年四月十三日(金)
午後六時～七時三十分
場 所 山村開発センター

平成2年度の阿仁部交通安全協会の阿仁支部総会(法規講習会)が次の日程で開催されます。

阿仁部交通安全協会阿仁支部

総会のお知らせ
(法規講習会)

農家の皆さん

農作業協定賃金を守り生産コストの軽減に努めましょう。

平成2年度 農作業標準賃金 (単位:円)

作業内容	単位	標準額	備考
耕起	トラクター 10a当り	3,600	耕起、荒代かき、機械植等の5a未満の耕地は、10%以内までの増加とする。
代かき	トラクター 〃	4,000	
機械植	〃	4,000	
稲刈	バインダー 〃	4,800	ヒモ、マクラ刈は、雇主の負担。5a未満の耕地は、10%以内までの増加とする。倒伏田については、双方協議して決める事。
	コンバイン 〃	12,000	
脱穀	ハーベスター 〃	6,000	
田植・稲刈・その他水田作業賃金	男 1日当り	4,500	
	女 〃	4,000	
薬剤散布	10a当り	700	
畑作	耕耘機 〃	3,000	耕起は、1回平うちとする。
	トラクター 〃	3,000	
業	普通畑作業(果樹作業含) 1日当り	4,000	

- ◎ いずれも賄い廃止。
- ◎ 1日は、休息時間を除く8時間労働を原則とする。
- ◎ 賃金でない賄い支給の仕方は、必ず全廃のこと。
- ◎ 農作業による事故・農薬等による危害防止に努めましょう。

阿仁町農業委員会

福祉関係住宅整備資金の申込み受付

- ◆ 資金貸付を利用できるのは
 - ▼60歳以上のお年寄りのための居室整備
 - ▼母子・寡婦世帯の住宅整備
 以上の場合で自力で整備することが困難な人です。

◆ 貸付の内容は次のとおりです

資金の種類	貸付限度額	利率	償還期間	償還方法
高齢者居室整備資金	100万円	年 3%	1年据置 9年間	元利均等 半年賦
母子・寡婦世帯住宅整備資金	100万円	無利子 年 3%	〃	年 賦

◆ 申込みには次の書類が必要です

- ▼貸付申請書 (福祉係にあります)
- ▼工事見積書
- ▼整備箇所がわかる平面図

◆ 受付は4月2日(月)～28日(土)まで、福祉保健課・福祉係に

※ この資金は、厚生年金及び国民年金の還元を受けています。みなさんの厚生年金及び国民年金保険料の積立金からの融資は、こうした住民生活に有効に活用されています。

むし歯のない子の表彰

(3月分)

九日に元年度のむし歯のない子の検診と表彰を行いました。元年度の二歳児健康診査では、十五人にむし歯がありませんでしたが、この日の検診では九人が表彰されました。

三歳児は三人中一人、四歳児は四人中二人でした。

年齢がすすむにつれ、むし歯のない子が少なくなっております。むし歯をつくらずに育てることは、とても大変だと思いますが、頑張ってください。

二歳児

- 新中 松橋 賢くん
- 上新町 美濃谷年彦くん
- 〃 山田 麻矢さん
- 下新町 高井 志乃さん
- 萱草 上杉 祐貴くん
- 荒瀬 佐々木裕一くん
- 〃 佐々木春香さん

- 横町 庄司 和昭くん
- 吉田 原 知世さん
- 三歳児 上新町 三浦 智子さん
- 四歳児 幸屋渡 西根 雄幸くん
- 新町 藤井 千鶴さん



◎ 広報送付の謝礼

埼玉県庄和町にお住まいの鈴木五郎さんから、「いつも広報を送っていただきありがとうございます」と五千円をいただきました。

係では郵券代に使わせていただきます。

保健婦だより

便秘にならない暮らしの知恵

特別な病気もないのに頑固な便秘で悩んでいる人は、まず日頃の食べ方、食事の内容をチェックしてみましょう。

*朝食抜き、無理なダイエットはやめること

腸のぜん動運動は、朝食後がもっとも起こりやすいのです。まず、朝食を食べることが便秘予防の第一歩。

穀類やいも類、根菜類などを極端に制限した無理なダイエットは、健康を損うばかりか逆効果です。

*野菜や海藻をたっぷり、冷凍、加工食品に頼らない

葉物や海藻、豆類を手まめに食卓に。未精白の穀類(玄米、胚芽米等)にはセンイの他に微量栄養素も含まれています。センイの少ない冷凍、加工食品はひかえめに。

*肉類や甘いものの取り過ぎは要注意

脂肪の多い肉類、卵などの動物性食品を食べ過ぎると栄養分や便の水分が吸収されて、便のカサも少なくなります。

また、甘い物の取り過ぎは、腸のぜん動運動を緩慢にします。

*朝1~3杯の水を

便はほとんどがセンイかすと水分、そして老廃物、腸内細菌です。水分の取り過ぎは腸の働きを弱めますが、適度の水分は必要です。特に朝の1杯はぜん動運動が活発になります。

〈食べた方がよい食品〉

穀類(米、麦、玄米、胚芽米) 野菜(ぜんまい、切り干し大根、人参) ゴマ、豆類(小豆、納豆) いも類、きのこ、海藻等

〈控えた方がよい食品〉

砂糖、清涼飲料水、ケーキやアイスクリーム、甘い菓子、肉類(脂肪の多い物) 冷凍、加工食品などやわらかい食品、シューマイ、ハンバーグ等

婦人検診

(子宮、乳、甲状腺)

- 4月26日(木) ふるさとセンター 受付時間 12時~13時30分
4月27日(金) 荒瀬分館 受付時間 12時~12時40分
5月8日(火) 吉田分館 受付時間 12時~13時
5月9日(水) 農村環境改善センター 受付時間 12時~13時
5月10日(木) 山村開発センター 受付時間 12時~13時
5月11日(金) 阿仁町公民館 受付時間 12時~13時

日帰りドック(秋田県保健事業団)

受診者募集

- 4月28日まで申し込み下さい。
●受診月日は申し込みにより調整させていただきます。

福祉保健課 衛生係まで 822111

妊婦教室

- 4月13日(金) 阿仁町立病院会議室 13時30分~15時
対象者 5月~8月出産予定者
※妊婦の歯科検診と口腔衛生指導も行います。

母子手帳交付日

- 本庁 4月2日(月) 8時30分~17時
●支所 4月3日(火) 9時30分~12時30分

電話健康相談日

- 4月2日(月) 役場 822111
保健婦がご相談に応じます。

乳児健康相談

- 4月5日(木) 山村開発センター 10時~12時 対象児 元年10月~12月生
13時30分~15時 対象児 元年4月~6月生
●4月6日(金) 農村環境改善センター 10時~12時

乳児健康診査

- 4月17日(火) 山村開発センター
受付時間 12時30分~13時
対象児 元年6月~7月生
元年11月~12月生

慶弔だより

(敬称略)

2月

◎こんにちは、赤ちゃん

Table with names and dates: 伊藤希里子(2月), 西根明日(2月), 柴田史彰(2月), 加賀谷沙織(2月), 鈴木拓也(2月), 山田チエ(80), 大町(80), 渡部シゲ(60), 笑内(60), 柴田金蔵(62), 戸鳥内(62)

◎社福協に香典返し

○大町の山田直義さん(亡母・チ)

○萱草の佐藤クニさん(亡母・ミ)

(エ)から五万円

(ナ)から三万円

佐京寛雄(75), 下新町, 柴田金蔵(62), 戸鳥内

生涯学習

すめ

阿仁町公民館運営審議会 答申書

(平成二年度運営計画策定基礎資料)

社会教育の実践

生涯学習体制づくりが指向される現在、学校教育のあり方、社会教育の実践について論議が交わされる時代になりました。

社会教育諸計画の策定、事業の企画実施等について、意見具申、審議提案の役割を持つ委員組織があります。阿仁町には、教育委員、社会教育委員、公民館運営審議会委員、文化財保護審議会委員、等が置かれています。

その委員の構成は主に、学校長の代表、社会教育関係団体の代表、学識経験者等によってなされ、知識、経験の提供、住民ニーズの分析把握による意見提示等により社会教育の充実が企られています。

○社会教育委員（独任制）

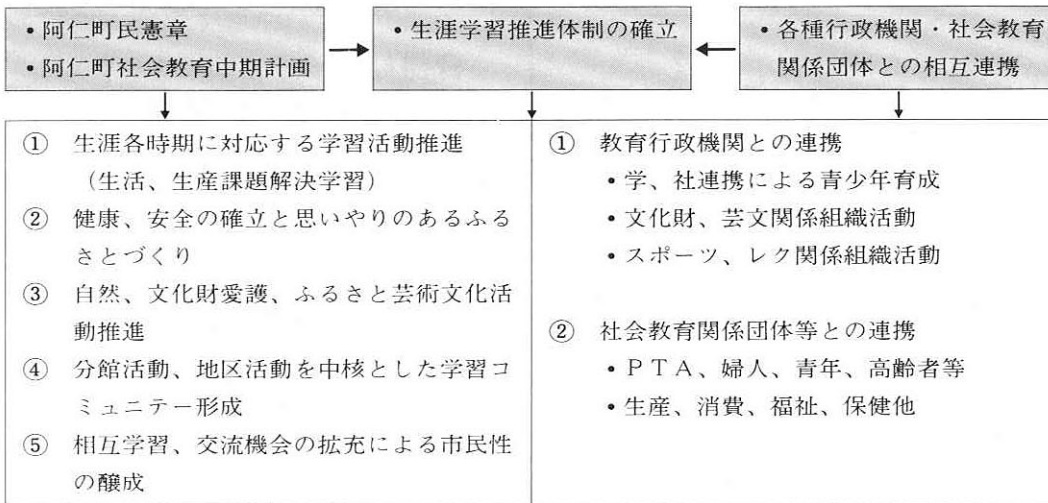
教育長を経て教育委員会に助言、または直接会議に出席して意見具申、青少年教育に関する特定事項について指導助言するのが役割。

○公民館運営審議会委員（会議制）

館長の諮問に応じて、調査研究の上審議会に於いて審議の結果を答申します。平成元年度は三回に亘って審議の結果下記の答申がされました。

「公民館のあるべき姿と、今日的課題解決を指向する諸活動のすすめ方」

1. 運営計画策定のよりどころと年度目標の設定について



2. 公民館運営の基本的考え方

- ① 潜在化された需要者のニーズ把握と対応
- ② 今日的課題の選択、学習機会、方法の創造
- ③ コミュニティー形成を指向する自主自立活動の育成
- ④ 個人、小集団、団体が「集い」「学び」「つながり」を持つ機会づくり
- ⑤ 各種機関、社教関係団体との関連による生涯学習体系確立

3. 課題設定のための基本的考え方

- ① 日常生活に役立つ学習活動の重視（生存性学習）
- ② 余暇の善用と文化活動の重視（文化性学習）
- ③ 近隣社会形成（コミュニティ形成）学習の重視（市民性学習）（地域づくり後継者学習）
- ④ 学校、保育所との相互連携による青少年健全育成の重視（家庭教育、在学青少年教育）
- ⑤ 高齢化社会に対応し、人材活用による心豊かなふるさとづくりの重視（人材活用、ふるさと学習）

4. 公民館運営上の配慮について（項目のみ、内容は略す）

1. 学習需用者のニーズの把握
2. 課題解決学習の充実
3. 分館活動の充実
4. 図書館（室）情報センター機能
5. 郷土文化活動の振興
6. 人材養成と活用
7. 各種機関団体との相互連携

あすの阿仁を創る生活推進会議・総会

今後の推進事項を決める

冠婚葬祭等の生活合理化を推進し、新しい交際・消費生活の確立を目ざしている、「あすの阿仁を創る生活推進会議」の元年度総会がこのほど行なわれ、今後の普及奨励活動のあり方や推進事項等について協議がなされました。

山田賢三会長、今井町長のあいさつの後、平成元年度の会費制結核披露宴の実施状況等の活動概況や、公民館が実施した交際生活に

対するアンケートの結果報告、そして、各自治会等による推進活動の事例発表などが行なわれました。これを受けて、今後における推進活動の在り方について出席者五十余名の熱心な話し合いが続けられ、発足時(六二年四月)からい

ままでの歩みや問題点などを整理し、平成二年度以降の活動方針が決められました。会費制結婚披露宴や葬儀・法事関係、お見舞い等

のとおりで、(敬称略) 顧問 佐藤時幹(町議会議長) 吉田英一(町教育委員長)

記紀の高天原・出雲・筑紫の神話にユーモアを織りまぜての話し参加者は深い感銘を受け、活発な質疑と併せて有意義な教室でした。このほかの定期教室として、

- 名誉会長 今井乙磨(町長)
 - 会長 山田賢三(自治会長会々長)
 - 副会長 梅邑長之助(議会教育民生委員長)
 - 高堰信男(町助役)
 - 加藤 茂(町社協副会長)
 - 伊藤照夫(町商工会長)
 - 柴田吉治(町農協組合長)
 - 小武海ウタ(阿仁会婦人会長)
 - 中嶋イシ(天阿仁連合婦人会長)
 - 吉田稲穂(町教育長)
 - 漆 正俊(公民館長)
- ※理事の方々は、後日お知らせさせていただきます。(全役員任期は二カ年)

「地域に学ぶ」

各分館の文化活動「冬期移動教室」行なわれる

先月号に引き続き、各分館において、伝統文化に親しむ活動や、くらしに関する諸学習などを組み合せた「冬期教室」が行なわれておりますので、その概略をお知らせいたします。

荒瀬分館

◎生活文化教室

どこの集落にも古い時代から、そこに住む人々が生活と深い係わりをもたせながら神仏を祀る行事が継承されてきている。荒瀬もその中の一つで、いくつかを拾ってみると、

- ・お籠もり
 - ・唐松講
 - ・庚申様
 - ・御大師講
 - ・念仏講
 - 等があり
- それらが古い世代から次の世代へと継がれる中で、意味がわからな

えたり、時には形も消えたりしている。然しこれらの祭祀には、天地自然からみるとまことに弱い人間が素朴でささやかな幸せを求めて必死に生きる心の拠り所としてきた信仰の意味がそれぞれあるのです。その祭祀について学習し、正しい理解をもって伝承しよう。これがこの生活文化教室なのです。

講師は町の数々の要職を歴任された集落の長老であり、「阿仁町発達年表」や「荒瀬の昔と今」の著者でもある福嶋吉五郎先生。



◎家庭教育親子映画のつどい
◎輪おどり教室
などが行なわれており、母親に手を引かれた幼児から高齢者まで、分館は連日の学習者で大にぎわいでした。

根子分館

◎ふるさとの歴史を学ぶつどい

根子分館では、昭和五七年度から、「根子の昔を学ぼう」をテーマに、ふるさとの歩みについていろいろな角度からスポットを当てて、学習会を重ねてきました。マタギと番楽、大阿仁炭鉱、伝承民俗行事、これらくらしに深い係わりを持ってきたものを、正しい理解をもって伝えようというものです。本年度も、昔なつかしい様々な伝承あそびを、経験ゆたかな高齢者から現代のチビッコ達へその楽しさを伝えてもらおうと計画されており、

- ◎手芸・料理教室
- ◎家庭教育親子映画会



が実施され、婦人層を中心に人気を博しております。

活動日誌

(3月1日～31日)

●事業・学級関係

- 生きがいセミナー、婦人セミナー
- 幸屋渡婦人学級、荒瀬高齢者学級
- 奥阿仁分館マタギスキー大会
- 会費制結婚披露宴、あすの阿仁を創る生活推進会議総会
- 公民館運営審議会

●分館の移動教室

- 根子(料理、手芸、親子映画)
- 伏影(交通安全教室)
- 荒瀬(親子映画、輪おどり)
- 三枚(料理)

●各種自主クラブ活動

- 大正琴、俳句、社交ダンス、民謡踊り、高齢者ダンス、書道
- 詩吟

◎阿仁町芸術文化活動グループ組織づくり協議会が世話人によって開催され、芸文協結成の足がかりをつくりました。

生涯学習カレンダー

4月

!!学んで増やそう、知識と友を!!

①日	ノーカーデー (内陸線乗車運動)			発明の日
2月	社交ダンスクラブ(本館)19:00～ ・自主グループ	18	水	
3火	バレーボール練習(町民体育館)19:00～ ・自主グループ	19	木	バレーボール練習(町民体育館)19:00～ ・自主グループ
4水	町内小・中学校入学式 10:00～	20	金	弓道教室(町民体育館)19:00～ ・自主グループ
		21	土	テレビ家庭教育番組「親の目の目」 ABS 10:00～10:30
5木	バレーボール練習(町民体育館)19:00～ ・自主グループ	22	日	内陸線綱引大会 (町民体育館) 俳句会 (本館) 13:30～ 詩吟クラブ (本館) 18:30～ ・自主グループ ・自主グループ
6金	弓道教室(町民体育館)19:00～ ・自主グループ			
7土	テレビ家庭教育番組「親の目の目」 ABS 10:00～10:30	23	月	社交ダンスクラブ(本館)19:00～ ・自主グループ
⑧日	花まつり 俳句会(本館)13:30～ ・自主グループ	24	火	バレーボール練習(町民体育館)19:00～ 民謡踊りクラブ(本館)19:00～ ・自主グループ ・自主グループ
				25
9月	社交ダンスクラブ(本館)19:00～ ・自主グループ	26	木	バレーボール練習(町民体育館)19:00～ 大正琴クラブ(本館)19:00～ ・自主グループ ・自主グループ
10火	バレーボール練習(町民体育館)19:00～ 民謡踊りクラブ(本館)19:00～ ・自主グループ ・自主グループ			
11水		27	金	弓道教室(町民体育館)19:00～ ・自主グループ
12木	バレーボール練習(町民体育館)19:00～ 大正琴クラブ(本館)19:00～ ・自主グループ ・自主グループ	28	土	テレビ家庭教育番組「親の目の目」 ABS 10:00～10:30 高齢者ダンスクラブ(本館)14:00～ 書道クラブ (本館) 19:00～ ・自主グループ ・自主グループ
				29
13金	弓道教室(町民体育館)19:00～ ・自主グループ	30	月	社交ダンスクラブ(本館)19:00～ ・自主グループ
14土	テレビ家庭教育番組「親の目の目」 ABS 10:00～10:30 高齢者ダンスクラブ(本館)14:00～ ・自主グループ			
⑮日	ノーカーデー (内陸線乗車運動)			
16月	社交ダンスクラブ(本館)19:00～ ・自主グループ			
17火	バレーボール練習(町民体育館)19:00～ ・自主グループ			

全町あいさつ運動 (阿仁町教育研究所)

町の小・中学校では、いま「あいさつ運動」に取り組んでおります。いつでも、どこでも、だれにでも明るいあいさつはもちろん、軽い「えしゃく」をされると気持ちの良いものです。

町づくりは「明るいあいさつから」「あいさつ運動は家庭から」を合言葉に、大人から進んで声をかけ合い全町運動として目指しましょう。

“あいさつで えがおの花さく 阿仁の里”

根子小学校 田口晴美

・印は、行事主管課及び施設・学習団体の意味です。
学習についてのご相談、お問い合わせ

生涯教育ブルーの窓口

教育委員会 82-2133 阿仁町公民館 82-2128
町民体育館 82-2126 大阿仁分館 84-2040
へお気軽にご連絡下さい。(通信教育、放送利用、諸学級、趣味の教室、スポーツ、文化等)